

入鹿池

(いるかいけ)



全景



ツツジが咲き誇る池のほとり

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県犬山市

□ため池の特徴

蘇我入鹿の領地であった入鹿村に尾張藩主徳川義直公により造られたため池で、日本第2の貯水量を持ち、築造以来380年の間、尾張平野東北部の広大な水田1,300haを潤し続けています。

1663年の築堤後、死者1000名を出した入鹿切れをはじめ、何度も豪雨や地震に見舞われましたが地域の努力により修復され、平成12年の東海豪雨では、調整池の役割を果たし下流の災害防止に貢献しました。

本宮山、尾張富士、白山の尾張三山が池を囲み、畔の博物館明治村と併せて多くの人々が訪れる観光地となっており、東海自然遊歩道入鹿池コースも設定されています。

地域の生態系ネットワーク内で重要な位置を占めており、カルガモ、コアジサシなどの多くの渡り鳥も飛来します。

また、地元小中学校によるゴミ拾いや、地域住民による草刈り等が行われ、地域で愛されているため池です。

関連情報

水土里ネット愛知ホームページ

<http://www.aichi-doren.or.jp/21souzou/irukatochi.htm>

東海自然歩道ホームページ

<http://www.tokai-walk.jp/index.html>

美しい愛知づくり600選

<http://www.pref.aichi.jp/>

維摩池

(いまいけ)



全景



ため池のほとりの散策路

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県尾張旭市

□ため池の特徴

江戸時代初期、新居村新田開発の水源として築造されたと言われており、尾張旭市内で最も大きいかんがい面積(37ha)を持つため池です。

「美しい愛知づくり景観資源600選」に選定され、北に隣接する森林公園と一体となって自然豊かな環境を形成しています。

周囲の雑木林にはハンノキ、ヒサカキ、コナラが繁茂し、水辺にはウナギ、ナマズなどの在来魚が見られ、またカイツブリ、カルガモなどの野鳥も多く飛来します。

関連情報

美しい愛知づくり景観資源600選

<http://www.pref.aichi.jp>

新池

(しんいけ)



全景

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県尾張旭市

□ため池の特徴

約200年前の江戸時代に造られたため池で、周辺の水田を潤すとともに、愛知用水の連絡ため池という重要な使命も果たしています。

池の周辺が開発される中で、池南側の樹林地を保存して、水と緑のバランスを保ち眺望景観にも配慮されています。

また、マガモ等渡り鳥の飛来地にもなっています。

新池公園や交流館が隣接する新池は地域コミュニティの中心となっており、地域のボランティア団体が自然観察や清掃活動などを行い地域の財産となっています。

関連情報

新池交流館ふらっとホームページ

<http://www.dolphin-group.co.jp/huratto/index.html>

長池

(ながいけ)



全景



環境整備された池の周囲

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県尾張旭市

□ため池の特徴

江戸時代初期に新居村新田開発の水源として造られたため池で、市の城山公園の一部として市民の憩いの場となっています。

氷河期の遺存種で珍しい樹木「マメナシ」とため池の作り出す景観は「美しい愛知づくり景観資源600選」に選出されています。

また池の周囲は桜の名所になっており、桜まつりも開催されています。

現在も農業用ため池として、周辺の水田を潤すとともに、愛知用水の連絡ため池という重要な使命も果たしています。

地域のボランティア団体が花壇などの維持管理や、マメナシの群生を観察するなどの活動を行っています。

関連情報

美しい愛知づくり景観資源600選

<http://www.pref.aichi.jp>

濁池

(にごりいけ)



全景



堤体の様子

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県尾張旭市

□ため池の特徴

江戸時代初期に新居村新田開発の水源として造られたため池で、水質がきれいであるにも関わらず濁って見えるため「濁池」の名が付いたとされています。

市内4.5haの農地を潤すとともに、愛知用水の連絡ため池という重要な使命も果たしています。

絶滅が危惧されているサイコクヌカボ、ウキシバ、ミズマツバなどの植生やミドリシジミ、ヒメタイコウチなどの昆虫が生息しており、尾張旭市の住民にとってはかけがえのない地域資源となっています。

自然豊かな景観は、地域のみならずこの地方の人々の生活を癒し潤いを与えており、地元では「濁池地域環境保全の会」が地域のコミュニティ活動として、草刈り、植栽などを行っています。

関連情報

尾張旭市ホームページ

<http://www.city.owariasahi.lg.jp/>

鞍ヶ池

(くらがいけ)



全景



堤体の様子

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県豊田市

□ため池の特徴

鞍ヶ池は江戸時代(寛永年間)、尾張藩寺部領主渡辺氏の命で築造されたという歴史を持つ一方、池の畔にトヨタ鞍ヶ池記念館が設置され、現在の日本を代表する産業と共存する光景が見られます。

今も125haの農地に水を配る鞍ヶ池は、完成時に領主が「池の主となって治めよ」といって自分の鞍を池に投げ込んだことが、名前の由来とされています。

池を中心に鞍ヶ池公園が整備され、湖畔遊歩道をはじめ、動物園、観光牧場など整備されています。

森と水に囲まれた公園として「美しい愛知づくり景観資源600選」に選定されており、カモ等の渡り鳥の飛来地ともなっています。

また東海環状自動車道のハイウェイオアシス(鞍ヶ池パーキングエリア)が併設され、地域を越えた多くの人に利用されています。

関連情報

鞍ヶ池公園ホームページ

<http://www.ryokuchikyokai.toyota.aichi.jp/kuragaike/>

美しい愛知づくり景観資源600選

<http://www.pref.aichi.jp>

立戸池

(たちどいけ)



全景



堤体の様子

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県知多郡美浜町

□ため池の特徴

立戸池は、江戸時代の記録にその名が登場する古いため池で、現在も農業用水として利用されています。

池は山に囲まれ、ヨシ、ガマ、ハス等が生える落ち着いた水辺となっており、ヨシの中には葉の出る方向が一方向の[片葉ヨシ]も混じっています。またカモ等の渡り鳥が飛来します。

「北方エコクラブ」等により、施設の清掃、草刈を地域で実施したり、池干しの際には多くの住民が集まり生き物調査等が行われており、地域の貴重な財産として大切に守られています。

関連情報

大田大池

(おおたおいけ)



全景



桜が咲き誇る池の畔

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県東海市

□ため池の特徴

大田大池は、江戸時代に大里村の農民によって築造されたため池で、池沿い散策路の桜は、大池公園の桜として「美しい愛知づくり景観資源600選」に選定されています。

四季に応じて花が咲くように工夫され、市中心部にありながら、梅まつり、桜まつり、しょうぶまつり、花火大会など各種イベントが開催され、またバラや紅葉も楽しめる大切な市民の憩いの場所となっています。

現在は、水稻をはじめフキ、ラン、タマネギの産地となっている市内85haの農地を潤すとともに、愛知用水の連絡ため池という重要な使命も果たしています。

また、カモ、ツバメ、ツグミ等の渡り鳥の飛来地となっており、多くの野鳥が観察できます。

関連情報

東海市ホームページ <http://www.city.tokai.aichi.jp/>

愛知県ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/>

勅使池

(ちよくしいけ)



全景



水とふれあう親水デッキ



歩け歩け大会の様子

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県豊明市

□ため池の特徴

勅使池は、室町時代の大永8年(1528年)に後奈良天皇の勅使が東郷町裕福寺へ派遣され、築造したとされており、池の名もこれに由来しています。

親水護岸やデッキから広大な池と対岸に繁る木々を臨むことができ、春には所々山桜が咲く自然豊かな景観です。

また、池周辺の勅使水辺公園では、地元小学生等の「歩け歩け大会」や連合婦人会による月見夜楽(月見と音楽鑑賞)が開催され、地域の人々に親しまれています。

明治2年(1866)～5年(1872)には、干ばつ被害に対応するため堤防の嵩上げが行われており、現在も水田を中心とする農地114haの貴重な水源となっています。

池には、愛知県の準絶滅危惧種「ヒメタイコウチ」、愛知県の絶滅危惧種「ウキシバ」が生息し、カイツブリ、カモ、コチドリ等の渡り鳥を始め、野鳥が多く集まることから、観察の場となっています。

「勅使水系環境保全の会」により清掃活動、植栽等が行われています。

関連情報

NPO法人環境研究所豊明ホームページ

<http://www.md.ccnw.ne.jp/green-21/tameikemeguri.htm>

万場調整池

(ばんばちょうせいち)



全景



堤体の様子



池を周回する遊歩道

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県豊橋市

□ため池の特徴

平成4年に豊川総合用水事業により築造された調整池で、丘陵地の高台にある広大な水面が開け、万場緑地公園として周回遊歩道や水の展示館等が整備されています。

池から直接184haの農地に配水することと併せて、豊川用水に調整池の貯留水を戻すことにより、渥美半島全体の水を調整する重要な機能を持っています。

一方、池の形状を利用した全国規模のエコテクノレースや自転車ロードレース等が開催され、非常に多目的に利用される池です。

関連情報

豊橋市ホームページ <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/>

水の展示館ホームページ

<http://ucgi.conyx.co.jp/topics/wtenji/wtenjikan.html>

別曾池

(べっそういけ)



全景



ため池と橋との良好な景観

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県知多郡武豊町

□ため池の特徴

大正13年の干ばつを契機に別曾三ツ池(上池・中池・下池)を統合し、三ツ池の2倍の貯水量を持つ単独のため池として築造されました。緑深い自然環境にあり、西岸の鉄橋が風致をそえています。

延べ8万人を動員した難工事を経て昭和7年に完成し、現在も88haの農地を潤しています。

付近一帯は町立自然公園として町民に親しまれ、100種以上の野生植物(アカマツ・クロマツ・ヤマモモ・クロバイ・コナラ・リョウブ・アセビ等)が自生しています。

また、ヒヨドリ、キジ、ウグイスなどが生息し、カモ等の渡り鳥の飛来地となっており、池は生物多様性を守り、水源涵養の役割も果たしています。

関連情報

武豊町ホームページ

http://www.town.taketoyo.lg.jp/sumai/matinami_04.htm